

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

発行：秋田県立聴覚支援学校内 きこえとことば支援センター



補聴器・人工内耳の効果と留意点

補聴器は、着用者の聴力にあわせて、音を増幅する程度（利得）を決め、音やことばを聞こえやすくします。聞き取りが改善されることもあります。聴力の実態によって、子音部の聞き取りにくさが残る場合もあります。また、騒音下でも聞き取りにくいことから配慮が必要です。

人工内耳は、高度難聴以上の場合適用となります。術後の経過が順調なら軽度難聴（30dB）程度の聴力になり、音声言語獲得の可能性があります。ただし、ことばの聞き取りには個人差があり、予後の予測が難しいのが現状です。また補聴器同様、騒音下、複数人数での会話、音楽等が聞き取りにくい場合があり、静寂下以外の学習では、補聴援助システム等も含めた配慮が欠かせません。

両器機とも、最適な調整の上での聴覚活用と周囲の人による適切な支援やサポートが必須です。また、日々の手入れ（夜間の乾燥等）も大切です。

一側性難聴とは ～ 片耳が正常であっても、聞こえにくさの困り感があります ～

話者に正常耳を向けるなど工夫して過ごす児童生徒もいますが、よりよい学校生活を送るために周囲の人が工夫できることがないかを考えていくことが大切です。

同じ一側性難聴でも、聞こえ方はそれぞれ異なりますが、困る場面は次の3つとされています。

聞こえにくい方から話し
かけられると分からない

騒音下では聞こえにくい

どこから話されているの
か分かりにくい

<牛島小学校 難聴理解学習から>

実践も3年目となりました。今年度は、難聴学級児童と2人で司会等も務め、自分の聞こえ方の説明や、困っていること・お願いしたいことを述べました。

私は、生まれた時から、右の耳がよく聞こえません。どんなふうに聞こえるかをせつ明します。まず、音がとても小さく聞こえます。左だといろいろな声が聞こえますが、右だとぜんぶ小さく聞こえます。大事なお話の時は、こまります。

次に、右の耳で聞くと、音もかわります。たとえば、耳もとでないしよ話をされると、わさわさと聞こえます。だから、小さい声で話すときは、左の耳から話してください。そうすると、だれが話しているかもよく分かります。

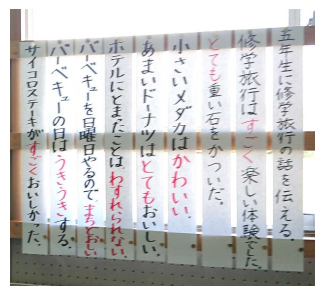
わたしは、もっとみんなとなかよくなりたいたいです。だから、聞きとれないときは、自分から聞き返すようにしています。いつも、みんなは、わたしが聞き返しても、やさしく教えてくれるのでうれしいです。これからも、よろしくおねがいします。

（牛島小学校3年 一側性難聴児童の発表より）



言葉を広げる教室掲示 ～A小学校セミナー研修から紹介～

提示授業の中で言葉を様々なインプット・アウトプットする言語活動がなされていましたが、教室環境もとても充実していましたので、その中の一つ、短冊について紹介します。押さえない言葉を場面を捉えて取り上げ、言葉の短冊を掲示されていました。また、文字は色分けされて見やすい工夫がなされていました。掲示の仕方は新しい順や教科ごとなどいろいろな方法がありますが、このように目に触れやすいところに掲示することで、定着のための確認や活用がしやすくなります。教室掲示だけでなく、児童がノートにもまとめているとのことで、いつでも振り返られるようにしていました。



高等部・高等部専攻科説明会、中学部説明会を終えて

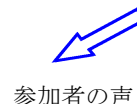
◆高等部・高等部専攻科説明会 〈令和3年9月16日（木）〉

高等部説明会では、学部や各科の説明や進路状況を聞いた後、「普通科」「産業技術科」「情報デザイン科」の授業を参観しました。視覚教材や電子黒板を活用した英語の授業、いろいろな道具を使った製作実習、外注のポスターなどを製作している情報デザイン科の個別学習やグループ学習の様子を熱心に見て回りました。



〔高等部説明会の様子〕

視覚的な情報や配慮など生徒
が安心できる。



参加者の声

授業ですぐ質問ができたり、先生が答えてくれたりしていた。対応が温かかった。

午後からは、高等部専攻科説明会がありました。専攻科は高等学校等卒業後の2年課程で、聞こえにくさがある方の就労を目指した社会自立を支援します。学科やコース、専攻科のカリキュラム、先輩の進路先について説明を聞いた後は、産業技術科、寄宿舎の参観・見学をしました。

◆中学部説明会 〈令和3年9月17日（金）〉

数学と英語の授業参観の後、行事や部活動、制服のことなど、中学部の生活について聞きました。参加した児童は「英語が楽しそうだった。」と感想を話していました。交流会やサテライト教室にも参加して、本校のことを沢山知ってほしいと思います。中学部では、体験学習もお受けしています。

先輩と語る会・中学生の交流会

日時：令和3年12月10日（金）13:30～15:10

場所：秋田県立聴覚支援学校 会議室西・東

講師：佐々木 廉 氏（株式会社ズスキ部品秋田）

平成29年度高等部専攻科情報デザイン科修了

講話：演題「働くために大切なこと（仮題）」

★中学生の交流会も兼ねています。ご希望に応じて、教育相談もお受けします。

〔昨年度の様子〕



きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）【直通携帯電話】090-8784-6302
〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

【聴覚支援学校】TEL：018-889-8572 FAX：018-889-8575

E-mail：chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp

